

科目ナンバリング		P-PUB01 8N018 LJ90			
授業科目名 <英訳>	医療倫理学各論 Practicum for Clinical Genetics		担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 井上 悠輔	
配当学年	専門職	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	金5・6:開講日注意	授業形態	講義(対面授業科目)	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
【基本情報】 授業日時：金曜5/6限(原則隔週) 教室：G棟3階演習室・状況によりオンライン授業を実施することがある レベル：応用 担当者：井上悠輔(科目責任者)、小川昌宣、川崎秀徳、竹之内沙弥香、浅井篤、山崎康仕					
【コースの概要】 医療・研究・公衆衛生におけるELSI(Ethical, Legal and Social Issues)の検討・動向について学ぶ。事実の見方は一通りではないかも知れない。各回、講師から提示された状況について、基本的な知識を身につけつつ、あるいは従来の議論の限界を確認しつつ、倫理面での葛藤に取り組む。					
[到達目標]					
1)社会健康医学における倫理の基礎を理解する ・医療・研究・公衆衛生における倫理的検討の基本的な知識を理解する(基礎の再確認)。 2)倫理的問題の対処方法を習得する ・自身で倫理的な論点について、提示できるようになる ・実践や解決に向けた道筋を考える					
[授業計画と内容]					
【第1/2回】 10月4日「撤回論文から考える研究倫理」(井上) 【第3/4回】 10月18日「法と倫理」(山崎) 【第5/6回】 11月15日「終末期医療」(竹之内) 【第7/8回】 11月29日「医療資源配分の問題」(浅井) 【第9/10回】 12月6日「産婦人科医療と倫理」(小川) 【第11/12回】 12月20日「小児科医療と倫理」(川崎) 【第13/14回】 1月17日「二次的(偶発的)所見の問題」(川崎) 【第15/16回】 1月31日「自主研究発表」(井上) 履修院生による自己テーマについての研究発表					
[履修要件]					
遺伝カウンセラーコース1回生必修科目 SPH選択科目 先修科目として「基礎医療倫理学」の履修を原則とする 人間健康科学系専攻学生の受講可否：要事前連絡					
----- 医療倫理学各論(2)へ続く -----					

医療倫理学各論(2)

[成績評価の方法・観点]

研究発表、議論への参加の積極性、レポート、出席等を総合的に判定します。
自主研究発表(最後に実施)：医療倫理に関するどのようなテーマでも良いので、自ら問題点を探し、それについて調べたり、検討した結果を発表し、全体でディスカッションします。割り当て時間(発表+ディスカッション)は、発表者の数に依存しますが、15-20分程度です。(原則としてパワーポイントを用いて発表し、ハンドアウト配布もお願いします)。他の専攻や研究科からの受講、聴講の場合も必須です。

[教科書]

配布するハンドアウトなど

[参考書等]

(参考書)

井上悠輔, 一家綱邦編 『医学研究・臨床試験の倫理 わが国の事例に学ぶ』(日本評論社, 2018年)
ISBN:4535984530
赤林 朗, 児玉 聡編 『入門・医療倫理III: 公衆衛生倫理』(勁草書房, 2015年) ISBN:4326102500
神里 彩子, 武藤 香織編 『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』(東京大学出版会, 2015年)
ISBN:413062413X

[授業外学修(予習・復習)等]

適宜指示する

(その他(オフィスアワー等))

その他メッセージ

事例検討は、ビデオ、漫画を用いることがあります
講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります
かならず、正式な受講届を提出すること。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。